

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間学		選択	1	1.2	前期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山本 泰宏 他	C304	yaushiro_yamamoto	水曜日 9:00~12:00		
授業の目的・概要	医療・福祉の専門職の使命は、身体や精神の障害で生活に困難を抱えるひとが再び「人間らしい」生活ができるように支援することである。では、「人間らしい」とはどのような状態なのか？この科目では「人間らしい」を理解するために必要な、その前段階の「人間とはどのような存在か？」というテーマについて多面的に考えることをモデルとし、多様な物の見方や考え方を体験し、身につけ、人間に関する理解を深める。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	教科書を利用しないので、復習をしっかりと行うこと。単に知識を暗記するのではなく考える過程を理解すること。講義中に指名するが、「間違えたら恥ずかしい」という気持ちは捨てて自分の意見を述べてください。				
教科書	教科書は指定しない				
参考書	授業の中で適宜紹介する				
外部教材	使用する予定はない				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	動物としての人間の特徴を説明できる。		HSU(1)(2)(3)(4)		
②	人間が高度な文明を築いた理由を説明できる。		HSU(1)(2)(3)(4)		
③	人間と自然、社会の関係を説明できる。		HSU(1)(2)(3)(4)		
④	人間と人間の関係が医療・福祉の分野でどのように展開しているのか説明できる。		HSU(1)(2)(3)(4)		
⑤	現代社会の課題をみつけ、人間はいかに行動すべきか提案できる。		HSU(1)(2)(3)(4)		
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 人間学を学ぶ意義を学習する。 人間とはどのような生き物か考察する。 [担当：山本]	講義 (同時 双方向型遠 隔授業)	人間の持つ2つの要素を確認する。	2	
2	[人間の進化] なぜ人間だけが高度な文明を築いたのか考える。 [担当：山本]	講義 (同時 双方向型遠 隔授業)	人間が高度な文明を築いた理由を確認する。	4	
3	[近代における人間観] 近代社会の成立とともに何が問題となってきたか、近代は人間をどのように見たかを考える。 また特に近代人の権利と義務について学ぶ。 [担当：岡田]	講義 (同時 双方向型遠 隔授業)	近代に人間観がどのように変化したのか確認する。	4	
4	[現代における人間観] 現代社会の成立とともに何が問題となってきたか、現代は人間をどのように見ているかを考える。 [担当：松崎]	講義 (同時 双方向型遠 隔授業)	社会が成熟するにつれて人間観がどのように変化したか確認する。	4	
5	[近現代における人間観の問題点] 近現代社会にはどこに問題があるのだろうか、近現代における人間観にはどこに問題があるのか考えてみる。 [担当：松崎]	講義 (同時 双方向型遠 隔授業)	第3~4回の授業内容を踏まえ、近現代社会の問題点とそれが生じた理由を確認する。	4	
6	[今後の人間観] 人口趨勢、また情報工学 (AI) や生命工学 (クローン) 等の今後の進展は、私達の仕事・生活にどのような変化をもたらすだろうか、今後の人間観を試考する。これは人間の来し方行く末を俯瞰する作業にもなる。 [担当：松崎]	講義 (同時 双方向型遠 隔授業)	科学技術の進歩により人間観は大きく変容している。第3~5回授業を踏まえ、我々はどうに思考すればよいのか確認する。	4	
7	[医療における人間関係について考える] 治療者・患者、相談員・クライアントの関係について考える。 [担当：山本]	講義 (同時 双方向型遠 隔授業)	これまでに考察してきた人間と社会の関係を患者・治療者間の関係ととらえ、医療・福祉の実際を人間関係の面から確認する。	4	

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

8	[まとめ] 人間としてふさわしい状態とは何か考える。 [担当：山本、松崎]	講義（同時 双方向型遠 隔授業）	これまでの授業内容を踏まえ、人間 とはいかにあるべきか確認する。	4
試	レポート			

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	100	0	0	0	100	
総合力 指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	80	0	0	0	80	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
レポート	①	✓	課題は授業の中で示す。授業内容を参考にして「基礎演習Ⅰ」で学習したレポートの書き方に従ってレポートを作成する。1 年生前期なので、内容よりも決められた形式でレポートを作成できることを重視する。				レポートを返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
備 考								
他 担 当 教 員	松崎 昇、岡田 大助							
教員の実務経験	山本：医師として人間の健康、疾病、生死に 35 年間向かい合ってきた。							
実践的授業の内容	現代社会、過去、医療の現場における人間観を教員の経験より伝える。							
そ の 他	1. 授業は Teams を使用した遠隔授業で行う。課題は Teams を用いて提示・回収・返却する。通信容量無制限のインターネット環境の確保を勧める。 2. 授業は学生が主体的に思考することを期待し、講義中に指名して自分の考えを述べてもらう。 3. 授業形式や日程が変更になる可能性があるため、Teams で常に情報に注意すること。							